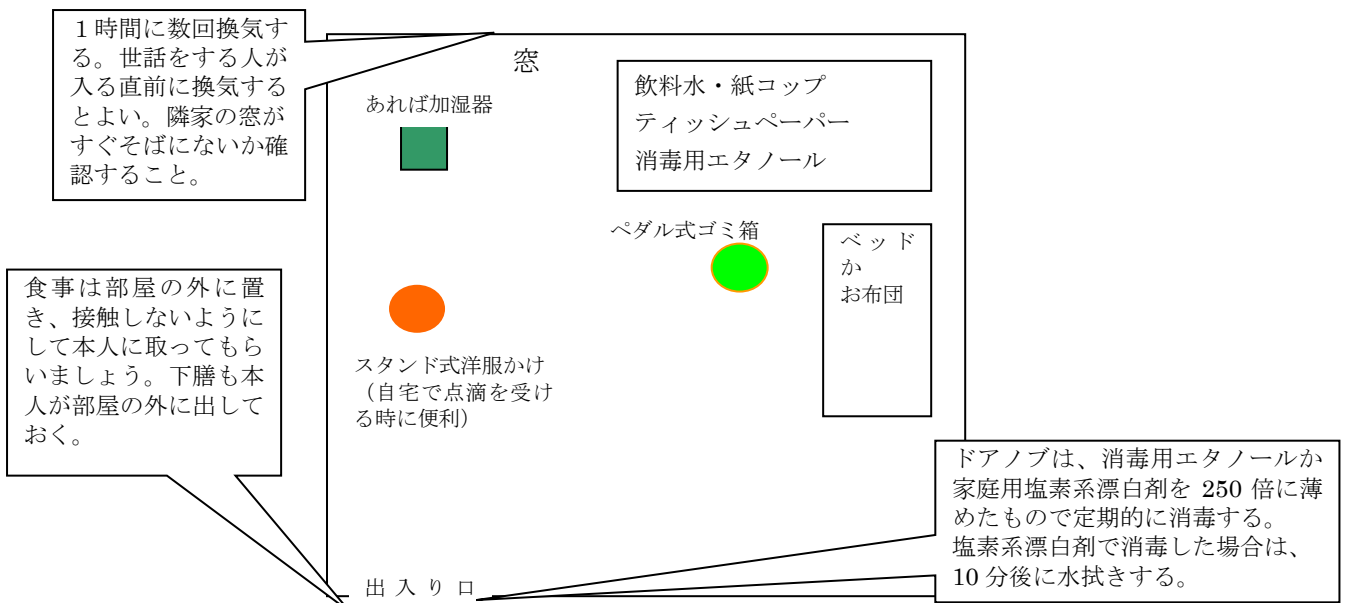


「新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ」の家庭看護

「新型コロナウイルス感染症」と診断された場合は、医療機関等で隔離されます。
症状はあるが、検査をしていない人で「経過観察」等となっている人は、自宅で静養しなければなりません。万が一を想定し、二次感染を防止するためには、以下を参考にしてください。

【家庭内の簡易病室の作り方】

- ◎ どんなに小さな部屋でもいいので、家族とは別の個室があれば用意します。
- ◎ 世話をする人はできるだけ限定し、病室内に入る回数も極力減らすことで、家族内での二次感染を少しでも防ぐことができます。
- ◎ 内服薬は本人が自分で飲むことができるのであれば、飲料水と紙コップを用意しておきます。
- ◎ 本人が、トイレなど部屋の外に出るときはマスクをし、本人専用のスリッパを部屋のすぐ外側に置いておきそれを必ずはきます。トイレ使用後はドアノブなど本人が触れたところをアルコール消毒する。トイレ内も本人専用のものがが必要です。
- ◎ 洗面台なども本人が使用後、飛び散った水滴などを拭き取り、蛇口や周囲をアルコール消毒する。できれば使用後本人にしてもらいましょう。
- ◎ 食器類：普通に洗ってもいいですが、家族が使うものとは別にしましょう。
 衣類：できるだけ本人のものをまとめて別に洗いましょう。漂白剤（次亜塩素酸ナトリウムを含んだもの）で消毒ができる物であれば（確認すること）消毒後、漂白剤をおとし、洗濯します。その後日光干します。
- ◎ ごみ：ティッシュや使用後のマスクなどが入っているので、ビニール袋の口をしっかりくくってから、燃えるごみとして出しましょう。ごみの処理をした後も手洗いを忘れずにしましょう。



- ペダル式ゴミ箱（マスク等を捨てる）
 ※マスクは一回一回捨てる（ヒモを持ってはせず）
- 本人がトイレなど、病室外で使用するスリッパ（本人専用）
- 世話をする人がはくスリッパ（病室内用）
 ●● ポンプ式消毒用エタノール
- 世話をする人が着る割ぼう着・エプロン（患者に触れる外側を内側にしてかけておく。）
 スタンド式の洋服掛けがあると便利。
 アルコールで手の消毒をしてから、ヒモを解きましょう。その後洗面所で、流水と石けんでしっかり手を洗います。

ご家庭内に慢性疾患に罹患している人や高齢者がいる場合は、家族間感染をしないよう、参考にしてください。この例の通りにできない場合は、各家庭の実情に合わせて、できる範囲でしてみてください。
 ただし、世話をする人が病室に入ることはできるだけ避け、やむを得ず入る場合は必ずマスクを着用し、入室後の手洗いは忘れずにしましょう。 ※この方法を用いたとしても、感染を完全に防ぐものではありません。